

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月3日

上場取引所 東

上場会社名 日東富士製粉株式会社
 コード番号 2003 URL <http://www.nittofuji.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 近藤 和威
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 松本 正
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月12日

TEL 03-3553-8781

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
21年3月期第3四半期	42,871	—	2,043	—	2,239	—	1,130	—
20年3月期第3四半期	35,676	3.6	1,292	57.9	1,497	41.1	1,341	93.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	24.62	—
20年3月期第3四半期	29.18	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	％	百万円	％	％	円 銭	円 銭	
21年3月期第3四半期	37,385	53.1	19,855	56.8	53.1	432.37	432.37	
20年3月期	34,209	56.8	19,431	56.8	56.8	422.96	422.96	

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 19,855百万円 20年3月期 19,431百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年3月期	—	3.00	—	6.00	9.00
21年3月期	—	3.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	4.00	7.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(％表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	56,500	18.3	1,790	6.4	1,910	0.7	1,010	△30.4	21.98

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第3四半期 46,923,646株	20年3月期 46,923,646株
② 期末自己株式数	21年3月期第3四半期 1,001,254株	20年3月期 981,573株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第3四半期 45,933,939株	20年3月期第3四半期 45,964,702株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 業績予想につきましては、現時点での予測数値であり、将来の様々な要因により変動する場合があります。

(2) 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計規準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

第3四半期連結累計期間においては、米国のサブプライムローン問題に端を発した世界的な金融不安の影響を受け、国内景気も後退感が強まりました。このような環境下、当社グループの主力である「製粉及び食品業」につきましては、小麦粉等の販売環境が厳しいなか、全社一丸となって提案型営業を積極的に進めたことや本年度2回目となった小麦粉販売価格の改定もあり、前年同期間比売上高は増加しました。営業利益等についても政府小麦売渡価格の引上げや原材料価格の高騰による売上原価の増嵩はありましたが、合併効果の進展によるコスト低減や販売管理費の圧縮が図れたことから増加しました。

「外食事業」につきましては、経済状況の急速な悪化に伴い業界全体が低迷するなか、一部不採算店の整理を行ったことから、当連結対象期間(1月～9月)の売上高は前年同期間比減少し、営業利益も厳しい結果となりました。

「その他の事業」につきましては、子会社の日東富士運輸株式会社の外部顧客に対する運賃収入が前年同期間と比較して増加し、営業利益も微増となりました。

以上の結果、第3四半期連結累計期間の業績は、売上高428億7千1百万円、経常利益22億3千9百万円、四半期純利益11億3千万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末の財政状態は、前連結会計年度末比で総資産は31億7千5百万円、純資産は4億2千4百万円、それぞれ増加し、自己資本比率は、3.7%減少いたしました。総資産の増加は、現金及び預金、受取手形及び売掛金の増加等とこれに伴う短期借入金の増加が主因であります。

当第3四半期末の現金及び現金同等物は、26億2千6百万円となり、前連結会計年度末より5億4千8百万円増加しました。

営業活動によるキャッシュフローは、売上債権の増加額及び法人税等の支払額等により、19億9千8百万円の支出となりました。

投資活動によるキャッシュフローは、有形固定資産の取得等により、5億7千9百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュフローは、短期借入金の増加等により、31億2千6百万円の収入となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当社の第3四半期までの業績は順調に推移いたしました。しかし、昨年後半から景気の減速感が急激に強まるなか、第4四半期での販売環境が非常に厳しいことが想定されること、また、株式市況の低迷が長引くことが予想される等、先行きの不透明感が強まっていることから、通期連結業績予想につきましては、当初予想額の売上高565億円、営業利益17億9千万円、経常利益19億1千万円、当期純利益10億1千万円を変更しておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続・表示方法等の変更

① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号）を第1四半期連結会計期間より適用し、評価基準については、原価法から原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）に変更しております。

これに伴う当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響額は、売上総利益、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益が27百万円、四半期純利益が16百万円それぞれ減少しております。

なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,661	2,113
受取手形及び売掛金	10,766	7,088
商品	57	54
製品	2,597	1,895
原材料	1,924	2,711
その他	932	882
貸倒引当金	△28	△21
流動資産合計	18,911	14,724
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,433	3,650
機械装置及び運搬具(純額)	3,318	3,511
土地	4,219	4,219
その他(純額)	431	283
有形固定資産合計	11,404	11,665
無形固定資産		
のれん	9	12
その他	534	548
無形固定資産合計	544	560
投資その他の資産		
投資有価証券	5,208	5,687
その他	1,419	1,677
貸倒引当金	△102	△105
投資その他の資産合計	6,525	7,259
固定資産合計	18,473	19,485
資産合計	37,385	34,209

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,735	2,162
短期借入金	5,915	2,366
未払法人税等	244	1,005
賞与引当金	199	414
役員賞与引当金	22	33
その他	1,604	1,651
流動負債合計	10,721	7,632
固定負債		
長期借入金	4,000	4,002
退職給付引当金	395	411
役員退職慰労引当金	181	158
負ののれん	872	969
その他	1,358	1,603
固定負債合計	6,808	7,145
負債合計	17,529	14,778
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,500	2,500
資本剰余金	4,049	4,049
利益剰余金	12,496	11,778
自己株式	△243	△237
株主資本合計	18,801	18,090
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,054	1,340
繰延ヘッジ損益	△0	—
評価・換算差額等合計	1,053	1,340
純資産合計	19,855	19,431
負債純資産合計	37,385	34,209

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	42,871
売上原価	34,099
売上総利益	8,771
販売費及び一般管理費	
販売手数料	627
販売運賃	1,652
貸倒引当金繰入額	6
給料及び手当	1,621
賞与引当金繰入額	79
役員賞与引当金繰入額	22
退職給付引当金繰入額	97
役員退職慰労引当金繰入額	25
その他	2,594
販売費及び一般管理費合計	6,727
営業利益	2,043
営業外収益	
受取利息	2
受取配当金	87
負ののれん償却額	97
その他	132
営業外収益合計	319
営業外費用	
支払利息	107
その他	15
営業外費用合計	123
経常利益	2,239
特別利益	
固定資産売却益	5
親会社株式売却益	19
その他	2
特別利益合計	27
特別損失	
固定資産売却損	1
固定資産除却損	24
減損損失	120
店舗閉鎖損失	56
その他	41
特別損失合計	244
税金等調整前四半期純利益	2,023
法人税、住民税及び事業税	773
法人税等調整額	119
法人税等合計	892
四半期純利益	1,130

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間
 (自 平成20年4月1日
 至 平成20年12月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	2,023
減価償却費	918
減損損失	120
のれん償却額	2
負ののれん償却額	△97
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	4
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△214
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△15
受取利息及び受取配当金	△89
支払利息	107
親会社株式売却益	△19
固定資産売却損益 (△は益)	△4
固定資産除却損	24
売上債権の増減額 (△は増加)	△3,677
たな卸資産の増減額 (△は増加)	81
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△208
仕入債務の増減額 (△は減少)	572
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△48
その他	69
小計	△446
利息及び配当金の受取額	88
利息の支払額	△106
法人税等の支払額	△1,533
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,998
投資活動によるキャッシュ・フロー	
親会社株式の売却による収入	19
有形固定資産の取得による支出	△728
有形固定資産の売却による収入	9
投資有価証券の取得による支出	△11
差入保証金の回収による収入	188
その他	△57
投資活動によるキャッシュ・フロー	△579
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	3,600
長期借入金の返済による支出	△53
配当金の支払額	△413
自己株式の取得による支出	△5
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,126
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	548
現金及び現金同等物の期首残高	2,078
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,626

当連結会計年度より、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

① 事業の種類別セグメント情報

当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)

(単位:百万円)

	製粉及び食品業	外食事業	その他の事業	計	消去又は全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	37,972	4,667	231	42,871	—	42,871
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	6	—	1,725	1,732	(1,732)	—
計	37,979	4,667	1,957	44,603	(1,732)	42,871
営業利益又は営業損失(△)	1,999	△14	40	2,025	18	2,043

(注) 「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号)を第1四半期連結会計期間より適用し、評価基準については、原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて、当第3四半期連結累計期間における営業利益は、「製粉及び食品業」が27百万円減少しております。

② 所在地別セグメント情報

全セグメントの売上高の合計に占める本邦の割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

③ 海外売上高

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

【参考資料】

前四半期に係る財務諸表等

(1) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
売 上 高	35,676
売 上 原 価	27,852
売 上 総 利 益	7,824
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	6,531
営 業 利 益	1,292
営 業 外 収 益	329
受 取 利 息	1
受 取 配 当 金	105
固 定 資 産 賃 貸 料	58
負 の の れ ん 償 却 額	94
そ の 他	70
営 業 外 費 用	124
支 払 利 息	81
た な 卸 資 産 廃 棄 損	27
そ の 他	15
経 常 利 益	1,497
特 別 利 益	1,436
固 定 資 産 売 却 益	46
親 会 社 株 式 売 却 益	1,385
そ の 他	4
特 別 損 失	139
固 定 資 産 売 却 及 び 除 却 損	26
減 損 損 失	71
店 舗 閉 鎖 損 失	10
投 資 有 価 証 券 評 価 損	18
T O B 関 連 費 用	10
そ の 他	2
税 金 等 調 整 前 四 半 期 純 利 益	2,794
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	1,031
法 人 税 等 調 整 額	408
少 数 株 主 利 益	13
四 半 期 純 利 益	1,341

(2) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別
	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	2,794
減価償却費	824
減損損失	71
貸倒引当金の減少額	△ 20
賞与引当金の減少額	△ 221
支払利息	81
親会社株式売却益	△ 1,385
固定資産売却益	△ 46
固定資産除却損	24
売上債権の増加額	△ 2,130
たな卸資産の減少額	12
その他の流動資産の減少額	42
仕入債務の増加額	461
その他の流動負債の増加額	117
その他	△ 156
小 計	467
利息及び配当金の受取額	106
利息の支払額	△ 79
法人税等の支払額	△ 316
営業活動によるキャッシュ・フロー	177
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
親会社株式の売却による収入	1,410
有形固定資産の取得等による支出	△ 747
有形固定資産の売却等による収入	49
投資有価証券の取得等による支出	△ 11
投資有価証券の売却等による収入	14
子会社株式の取得による支出	△ 126
差入保証金の回収による収入	38
その他	△ 64
投資活動によるキャッシュ・フロー	563
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の増減額	△ 4,000
長期借入による収入	4,000
長期借入金の返済による支出	△ 192
配当金の支払額	△ 321
その他	△ 15
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 529
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 2
V 現金及び現金同等物の増加額	208
VI 現金及び現金同等物の期首残高	1,296
VII 現金及び現金同等物の四半期末残高	1,504

(3)セグメント情報

事業の種類別セグメント情報

前年同四半期 (自 平成 19 年 4 月 1 日 至 平成 19 年 12 月 31 日)

(単位：百万円)

	製粉及び 食品業	外食事業	その他の 事業	計	消去又は 全社	連結
1. 売上高及び営業損益						
売上高						
(1)外部顧客に対する 売上高	30,567	4,921	186	35,676	—	35,676
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	7	—	1,694	1,701	(1,701)	—
計	30,575	4,921	1,880	37,377	(1,701)	35,676
営業費用	29,287	4,944	1,842	36,074	(1,690)	34,384
営業利益又は営業損失(△)	1,287	△22	37	1,302	(10)	1,292